

町内郵便局等と 包括連携協定を締結 安心安全な暮らしを目指して



▲締結の様子(左から勝田町長、
恩田博仁多郵便局長)

2月21日、町は町内の郵便局及び松江中央郵便局と包括的連携に関する協定を締結しました。この協定は、双方の人的・物的資源を有効に活用して、福祉サービスと経済発展の向上等を図るものです。

協定の締結により、町と郵便局が協力して、安心・安全な暮らしの実現、地域経済活性化、未来を担う子どもの育成、地域活性化・町民サービス向上に一層取り組んでいくことを確認しました。

大迫力の尾原ダム クレスト放流 多くの来場者を魅了



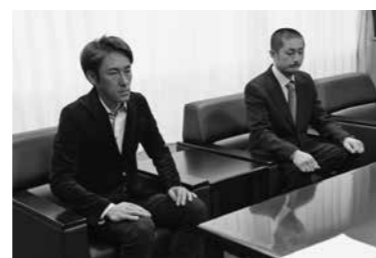
▲大迫力の放流

雲南市と奥出雲町に位置する尾原ダムで年に1度のクレストゲート点検放流が行われ、来場者は大迫力の放流をダム真下の広場などから眺めて楽しみました。

また、尾原ダム管理支所では、ダムマニアでダムライターの宮島咲さんによる「ダムを楽しむ基礎知識講演会」が行われ、参加者は興味を持ちながらダムの知識を深めていました。

会場ではダムカレーや地元グルメを楽しめ、流域のご当地キャラクターも登場し、多くの人で賑わっていました。

全日本スノーボード・スキー 技術選手権大会出場者を激励



▲左から中林さん、景山さん

新潟県南魚沼市で開催される第15回全日本スノーボード技術選手権大会に出場する中林司さんと北海道留寿都村で開催される第55回全日本スキー技術選手権大会に出場する景山寛樹さんの激励式が2月27日、役場仁多庁舎で行われ、激励金が贈られました。

勝田町長は「体調管理には万全を尽くされ、鍛えてきた力と技、精神力で存分に戦ってください」と激励しました。

3月上旬に行われた大会では、それぞれが全力で臨み健闘しました。

第50回島根県総合美術の作品が里帰り 樹氷展・立春展を開催



▲立春展の様子

町内から第50回島根県総合美術展に招待、入賞、入選された方の作品を展示した樹氷展・立春展が奥出雲町文化協会主催で開催されました。

樹氷展は横田コミュニティセンター展示室で2月16日から25日まで、立春展は三成中央公民館ロビーで2月27日から3月7日の期間に行われました。

今年度は、日本画2点、洋画2点、書3点、工芸1点、写真17点、デザイン画11点で構成され、写真部門で知事賞を受賞された木村悦子さんの「黄昏」やデザイン部門において2年連続で知事賞を受賞された佐藤由梨さんの「出-izuru-」をはじめとする秀作・力作が来場者を魅了しました。

第9回仁多米振興大会 未来へつなぐ 自然と共生する奥出雲の美味しいお米づくり



▲盛大に開催された大会

2月11日、第9回仁多米振興大会がカルチャープラザ仁多で開催され、仁多米の生産者や関係者など300人が参加しました。

この大会は、仁多米の品質向上を図り、消費者に信頼される安心・安全なおいしい米づくりに向けた意識醸成を目的に、町と島根県農業協同組合雲南地区本部が共催して平成14年から1年おきに開催しています。

来賓祝辞の後、島根県東部農林振興センター農業普及部から品質向上に向けた栽培試験の検証結果についての報告、(株)セラクからはICTを活用した栽培管理について技術情報提供がありました。また、米・食味鑑定士協会の国際名稲会会員の遠藤五一さんが良質米の栽培技術や品質向上について講演されると、参加者は参考にすべく真剣に聞き入っていました。

地方創生の一助に 奥出雲町のエゴマ振興に寄附をいただきました

地方創生の切り札としてスタートした企業版ふるさと納税。

本町が策定した、「エゴマ」を活かした地域ブランドの確立と6次産業化を目指す取組みに、創業110年以上にわたって、国内外で油を販売する専門商社カネダ株式会社様(本社:東京都日本橋/金田康男代表取締役社長)から多額のご寄附をいただきました。

寄附総額 3,421,000円

ご寄附は、以下の事業費に充てさせていただきました

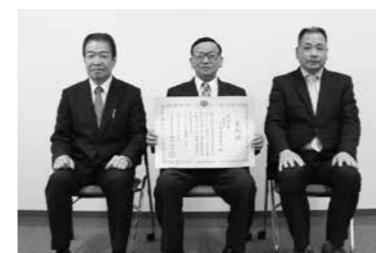
- 有機エゴマ生産農家所得安定対策交付金
- エゴマ収穫機(汎用コンバイン)整備の一部
- 有機エゴマ商品開発・販売促進支援交付金

なお、カネダ様からは、国で認定された「地域再生計画」に基づき、今年度から3か年にわたり、本町のエゴマ振興に対してご支援をいただく予定です。



▲金田社長のエゴマ視察の様子

平成29年度多面的機能発揮促進事業 上三所集落協定が優秀賞を受賞



▲受賞された上三所集落協定の皆さん

中国四国農政局では、農業生産活動等の維持及び効果の高い営農活動など、農業の有する多面的機能の発揮を促進する活動に取り組む組織等を対象に中国四国農政局長表彰を実施しています。

中山間地域等直接支払制度の上三所集落協定は、平成27年度から作業受託を行う上三所集落営農組合を中心に、地区内の4協定を統合して1つの集落協定となり、継続した農業生産体制の強化、鳥獣害対策などの多様な取組が図られたことが先進的であると評価されました。

奥出雲病院 友塚医師 第46回医療功労賞を受賞



▲友塚義人医師

奥出雲病院の友塚義人医師が第46回医療功労賞を受賞されました。

友塚医師は平成3年に旧仁多町立仁多病院の産婦人科医長として着任以来、永年にわたり郡内唯一の産婦人科医として分娩や子宮がん検診などを行うほか、安全な出産に向けた「マタニティ教室」の立ち上げに尽力されました。また、病院独自の新生児訪問や、町内の学校で性教育講演会を行ったりするなど、本町の地域医療に大きく貢献されたことが認められ、この度の受賞となりました。

優良公民館表彰を 阿井公民館が受賞



▲左から郷原喜美子館長、福田展子主事

平成29年度優良公民館表彰(島根県教育委員会教育長表彰)を阿井公民館が受賞されました。

この賞は、県内の公民館等が行った優れた活動に対して贈られるものであり、阿井公民館では、「地域みんなで元気で笑顔・安心・安全で暮らしやすいあいの里」をキャッチフレーズに多世代を対象にした福祉、防災、教育などの分野で多数の事業を展開されています。

これらの優れた公民館活動が評価され、この度の受賞となりました。